



Vol.17

2015年5月発行

## 平鹿総合病院の理念



- 「より高度な臨床」
- 「より深い研究」
- 「より広い教育」
- 「より積極的な保健活動」

の四つの柱を職員が共有し、  
地域の人々の生命と健康を守ります。



横手公園「標本木」桜の開花が、去年より9日早く咲きました。(平成27年4月19日撮影)

## CONTENTS

● 院長挨拶	2
● 職場紹介(農村医学研究所)	3
● 新任医師の紹介	3
● 外来受付時間のご案内	4
● 内科4科の新患受付の変更に関して	4
● 糖尿病教室のご案内	4
● 日曜夜間小児救急外来	4
● 編集後記	4

当院は、日本医療機能評価機構の  
認定施設です。また、健診センター  
は、日本人間ドック学会の機能評  
価認定施設です。



病院住所 / 〒013-8610 横手市前郷字八ツ口3番1  
TEL / 0182-32-5121 (代) FAX / 0182-33-3200  
● HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>  
E-mail : [hokatu@hiraka-hp.yokote.akita.jp](mailto:hokatu@hiraka-hp.yokote.akita.jp)



院長 平山 克

## 今年4月から病棟の編成と機能が改変されました

平鹿総合病院の入院病棟の編成と機能が平成27年4月をもって大幅に改変されました。今回は、本紙面を借りてこの改変について簡略にお話したいと思います。

但し、私自身はこの原稿を4月8日に書いていますが、皆さんが本紙に目を通してくださるのは5月頃の予定ですので、以下に記載する事項は「私は（私の家族は）先日入院（の手続き）を行ったので、或いは退院（の手続き）を行ったので承知していますよ！」という、既に実体験済みの方々も少なくないかもしれません。

まず、平成19年に現在地に移転して以来の当院の病棟は昨年度までどのようなものであったかという事を振り返りますと、病床数は586床であり、586床全てが看護師配置7対1の病棟でした。ちなみに、「7対1」というのは、急性期の病床に分類され「入院患者さん7人に対して看護師さん1人が配置されている」病棟の事です。今回の改変を項目に分けて説明します。

### 1) 看護単位の再編

平成19年の病院移転以来の一日当たりの空きベッド数は、平成19年が54床/日で、以後毎年右肩上がりに徐々に増加してきました。平成25年は89床、そして昨年度は急激に増加して131床でした。増加の背景因子に関しては詳細に分析検討しておりますが、少なくとも今後において空床数が減少に転じる可能性は極めて少ないと判断出来ます。それ故、病棟構成を今後の患者数に見合う病床規模とするために、現在の11看護単位から、3月末をもって1看護単位（5はな病棟）を休棟して10看護単位としました。病院の外観を見ますと、5階南側半分が真っ暗になっているはずですが、上記の理由によるものであり、停電ではありません。因みに、病棟の集約化は看護師さんの有効配置を可能とする効力を持ちます。

### 2) 集中治療病棟の新設

I C Uに代表される高度急性期を担う病床（病棟）の運用は、新病院への移転時からの積年の病院としての課題でした。今般、上記の病棟集約化と連動する形で、現行の3はな病棟の一部である“従前のカテゴリーでのI C U 4床、H C U 6床”を併せた10床を転用して、診療報酬で規定するハイケアユニット1の施設基準を4月1日に取得しました。そして、これに「集中治療病棟」と名称を与えました。集中治療病棟の看護師配置は、患者さん4人に看護師1人（4対1）です。診療科を一切問わず、大手術後、重症外傷、心筋梗塞、心肺停止搬送、脳卒中、など急性期の中でも特に診療密度が高い医療を必要とする患者さんに入室してもらい、ある程度安定したら一般病室に引っ越ししてもらいます。

### 3) 地域包括ケア病棟の運用

地域包括ケア病棟は、昨年春の診療報酬改定で全く新しく創設された病棟（病床）のカテゴリーです。残念ながらその内容と意義を詳しく述べる紙面の余裕はありませんが、急性期病院（病床）からの患者さんの受け入れ、リハビリテーションの積極的な実施も踏まえた在宅・生活復帰支援、地域からの緊急時の患者さんの受け入れ、など今後構築が進む地域包括ケアシステムを支える要になる、という明確なコンセプトを持った病棟です。

平鹿総合病院も、諸事情を鑑みて昨年10月に7階はな病棟（57床）で地域包括ケア病棟の施設基準を取得しました。そして今年4月には、6階もり病棟（56床）も地域包括ケア病棟として施設基準を取得しました。

### 4) 急性期病棟

従いまして、従来の7対1の急性期病床は410床となります。

	集中治療病棟	(4対1)	10床
急性期病棟 (7対1) 586床	→ 急性期病棟	(7対1)	410床
	地域包括ケア病棟	(10対1)	113床

患者さん及び御家族の皆さんの立場で見ますと、従前はある診療科で入院すると、基本的にはそのベッドで状態が良くなるまでずっと過ごして、そのベッドから退院していたはずですが。

これからは違います。発病（受傷）→ 病院へ → 集中治療病棟へ（重症な場合のみ）→（有る程度安定したら）急性期病棟へ →（急性期を脱して安定したら）地域包括ケア病棟へ → 手厚い在宅・生活復帰支援を受けて → 退院、のようになります。

病床（病棟）の移動に伴う手続き等の書類も増えざるを得ない面もありますが、何卒御理解と御協力を御願います。各科の担当医や看護師、薬剤師、リハビリテーション技師など院内の医療スタッフも皆さんと一緒に病棟を移動して、病院を“フル活用”して従前通りに、そして従前にも増して、皆さんの快復に尽くしてまいります。

## 【職場紹介】 農村医学研究所 多目的コホート研究について

佐々木 司郎

平鹿総合病院農村医学研究所業務内容の一部に多目的コホート研究への協力があります。国立ガン研究センターが1990年から行っているもので、主にかん、脳卒中、心臓病などの成人病発症に関わる生活習慣などの原因を特定集団を長期的に観察して明らかにしようとするものです。全国で14万人余りが対象となっており、横手保健所管内（旧横手市と雄物川地域）の40歳から74歳までの住民を対象として続けられてきました。20年以上にわたり発症・死亡状況などを追跡調査し、生活習慣の他に、保存しておいた研究開始当初に採血した検体を分析し、どの検査項目が発症に関わっているか、などの解析を行っており、現在も追跡調査がなされております。世界的にも類をみない大規模な研究であり、これまでに250編を超える論文が発表され、世界的に高い評価を得てきました。農村医学研究所はこの地域の研究活動実働拠点として対象住民へのインフォームドコンセント、アンケート確認作業、採血、検体処理の他、疾病登録作業では病院内の病理診断部門、病歴部門、保健福祉活動室などの協力で追跡調査を毎年行っており、これからも続けていく予定（現段階で2020年までの30年間）です。この研究によりマスコミ等で報道されているように、がん発症に関わっている生活習慣が徐々に明らかにされております。詳細についてはネットでJPHCを検索して下さい。

平成23年からは新たに次世代多目的コホート研究が新横手市住民の40歳から74歳の方を対象として開始されました。すでに参加いただいた方も多いと思いますが平成26年11月現在で約2万3千名の方にアンケートの回答にご協力をいただき、そのうち1万3千名の方から採血のご協力をいただきました。横手地域では平成27年度にアンケートに答えていただいた方に採血へのご協力をお願いしており、これからご案内が届く方もいらっしゃると思います。採血された方にはピロリ菌検査を無料で行っており、アンケートに答えた方には栄養調査成績もお返ししております。次世代研究も今後20年以上続けられる予定（少なくとも2032年まで）ですので、まだまだ皆様のご協力が必要となります。次世代多目的コホート研究は全国九地域で20万人以上を対象として行われており、東北では唯一、横手地域が対象となっております。この地域の協力が国民の健康に寄与することになるわけで、このことは大いに誇るべきことです。今後とも皆様のご協力をお願い致します。

## 新任医師の紹介

(平成27年4月赴任)



整形外科 科長  
ちだ しゅういち  
千田 秀一



呼吸器内科 科長  
しいはら じゅん  
椎原 淳



血液内科 医長  
てしま かずあき  
手島 和暁



形成外科 医長  
あもう けんいち  
天羽 健一



小児科 医員  
くさなぎ みさと  
草薨 美里



小児科 医員  
こまがた ともやす  
駒形 友康



産婦人科 医員  
たかはし はるのり  
高橋 玄徳



## 診療科受付時間のご案内

[平成27年4月13日現在]

※自動再来受付機は午前6時30分から受付開始します。 ※新患受付は午前8時から受付開始します。

ブロック	診療科	受付曜日	受付時間	備考
1階 Aブロック	消化器・糖尿病内科	月・木	午前11時まで	◎糖尿病外来（火・木・金曜日）◎肝臓外来（毎週火曜日） ◎炎症性腸疾患外来（水・金曜日）
		火・水・金	予約のみ	
	外科	月～金	午前11時まで	◎小児外科（毎週木曜日午前）※要予約 ◎ストーマ外来 ※完全予約制
	乳腺外科	月～金	午前11時まで	※緊急の場合を除き、医師の診察は完全予約制です。
	整形外科	月～水・金	午前10時まで	予約のみ
		木		
心療センター	火・水・金	午前11時まで	※新患の方はあらかじめ水曜日又は金曜日に予約をお願いします。 （お電話でも結構です。）	
1階 Bブロック	呼吸器内科	月～金	午前11時まで	◎在宅酸素外来（毎週火曜日13:30～14:30） ◎C P A P 外来（毎週木曜日9:00～）※完全予約制 ※ただし、第3木曜日は行っていません。 ◎禁煙外来（第2・第4木曜日16:00～17:00）※完全予約制
	循環器内科	月～金	午前11時まで	◎ペースメーカークリニック外来（毎週水曜日14:00～15:00）※要予約 ◎脳梗塞担当（木・金・土）
	血液内科	月～金	午前11時まで	◎腎臓外来 月曜日（隔週）、水曜日（毎週） ※完全予約制
	神経内科	火	午前11時まで	
		水	午後13～15時	
	脳神経外科	月～水・金	午前11時まで	◎脊椎外来（隔週木曜日8:30～11:00）※要予約 ◎脳梗塞担当（日・月・火・水）
木		予約のみ		
心臓血管外科	木・金	午前11時まで		
2階 Cブロック	皮膚科	月・水	午前10時まで	◎心臓外来（第1金曜日・第4月曜日）※完全予約制 ◎脳神経外来（第4水曜日）※完全予約制 ◎内分泌外来（第2・第4金曜日）※完全予約制 ◎腎臓外来（第1金曜日）※完全予約制 ◎血液外来（第4金曜日）※完全予約制 ※特殊外来受診希望の場合は必ず小児科外来にご連絡ください。
		月～金	午前11時まで	
	小児科	◎予防接種（毎週火・水曜日13:00～15:00） ※ただし、第4水曜日は行っておりません。 ◎慢性疾患（毎週火曜日13:00～15:00） ◎乳幼児検診（毎週木曜日13:00～15:00）		
		産婦人科	月・火・木・金	午前11時まで
	形成外科	月・火・木	午後12時～14時30分まで受付	◎顎顔面・唇顎口蓋裂外来（第1金曜日） ※水・金曜日以外の診察は13時30分からです。
		水・金	予約のみ	
2階 Dブロック	耳鼻咽喉科	月・水・木	午前11時まで	◎学童外来（毎週木曜日、受付は15時まで）診察は15時からです。 ※金曜日の診察は13時30分からです。
		火	予約のみ	
		金	午後12時～14時30分	
	眼科	月・木・金	午前は9時30分まで	◎手術日（毎週水曜日）
火・水		予約のみ		
泌尿器科	月～金	午前11時まで	◎ストーマ外来 ※予約制	
歯科	月～金	午前11時まで		

### 内科4科の新患受付の変更に関して

（循環器内科、呼吸器内科、血液内科、消化器・糖尿病内科）

当院では診療時間内（8:30～17:00）に診療を希望された外来患者さん、および診療時間外（17:00～翌朝8:30）の救急患者さんを、従来は全員診療していました。

一方、医療は日進月歩で高度化しており、地域中核病院に求められる専門的な検査や治療を実施するために、一人の患者さん、特に入院患者さんの診療に要する人手と時間が飛躍的に増加しています。

この時間を確保するために、当院内科4科では平成27年4月1日より診療時間内（8:30～17:00）の新患患者さんに関して、原則として診療情報提供書（紹介状）を持参した方のみを受付することにさせていただきます。

何卒御協力と御理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 内科4科で受診可能な新患患者さんのリスト

- 他の医療機関からの診療情報提供書を持参した方
- 検診やドックで癌疑いまたは胸部X P ・心電図・肺機能検査異常でチェックされた方  
高血圧、脂質異常症、糖尿病、蛋白尿など上記以外の精密検査を指示された方はかかりつけ医など他の医療機関を受診して下さい。
- 各種健康診断、ワクチン接種希望の方
- 胸痛が主症状の方
- 吐血・下血が主症状の方
- その他、緊急性の高い患者さん

なお、頭痛が主症状の方は脳神経外科が担当いたします。

### 平成27年度 第1回糖尿病教室のご案内

興味のある方は、どなたでもお気軽にご参加ください。

開催日：7月15日（水曜日） 時間：11:30～13:30

会場：講堂（病院2階） 内容：「食事について」

講師：平鹿総合病院 管理栄養士 石山 香

参加費：1,000円（バイキング）

申込方法：1週間前までに消化器・糖尿病内科の窓口または事務局へお申込み下さい。

（事務局）平鹿総合病院 リハビリテーション科 小田嶋 ☎0182-32-5253  
※第2回目は9月16日に、第3回目は11月18日に予定しています。

### 横手市医師会の支援を得て「日曜夜間小児救急外来」を行っています。

診察日：毎週日曜日 受付時間：18:00～21:00

診察場所：日曜・夜間小児救急外来（平鹿総合病院 救急センター）

診察日	担当医
平成27年5月3日	佐藤 陽子（平鹿総合病院）
平成27年5月10日	石橋 貢（石橋小児科医院）
平成27年5月17日	岡田 信親（岡田小児科医院）
平成27年5月24日	伊藤 忠彦（伊藤小児科内科医院）
平成27年5月31日	石橋 貢（石橋小児科医院）

### 編集後記

平成27年度がスタートしました。高齢社会を見据えての国の医療制度改革に合わせ、当院も病棟再編、内科新患受付の変更が行われています。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。（広報委員 木村）